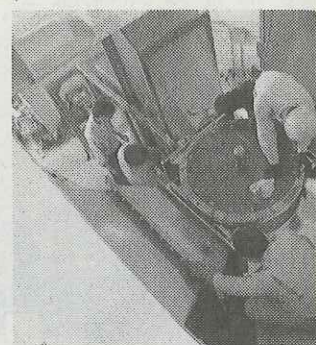


# 大強度陽子加速器

「設計の変更や仕様書にない要求に素早く対応でき、大企業にはない小回りの良さがあった」と振り返るのはJ-PARC C支援研究会（JSSS、茨城県ひたちなか市、02）の代表幹事を務める日本アークシス（同）の武藤大志郎社長だ。JSSSはJ-PARCの装置などを共同受注する目的で2004年に発足し、現在16社が参加している。

今回、メンバー企業7社



情報網を生かし、安く発注できる企業を見つ…… J-PARCの装置を共同で完成（装置の最終調整作業）

## 本業へ

計し、ユミノ金属工業（同）が加工、大和電機製作所（日立市）と日本アークシスが組み立てた。今後継続装置の製作を依頼した高エネルギー加速器研究機構の神山崇教授は「コ用なども検討した。請手続きをする余裕があった」と振り返った。業による意欲的なみに対して、負担して後押しする仕を整える必要があるだ。

# アルミニウムにDLC被膜

## 表面処理で独自技術開発

不ニダブリュ

【厚木】不二ダブリュ（神奈川県厚木市、下平英二社長、046・246・1191）と神奈川県産業技術センターは共同で、金属表面改質技術である「WPC処理」を用いてアルミニウムにダイヤモンド・ライク・カーボン（DLC）の被膜を形成する技術を開発した。ピストンなどに施すことで、潤滑油の保持能力向上、摩擦の低減などが図れる。量を希望する企業などを対象に、ライセンス提供を行う。レース用オートバイ向けパーツメーカーであるキタコ（大阪府東大阪市）がアルミニウム製ピストンに採用する方向。

DLCはダイヤモンドに類似した非晶質の薄膜材料。アルミニウムへの被膜形成はDLCとアルミニウムとの反応性が無いという、硬度差が大きいため難しい。

不二ダブリュピストンでは金属に数十μm（マイクロ）の微細なショットピニング（粒子）を高速で打ち付ける自社技術のWPC処理を改良。DLC被膜のアルミニウムへの密着性を2倍以上高める新たな処理方法を開発した。

WPC処理でアルミニウム表面に形成した微細なくぼみによる潤滑油の保持能力と、DLCの高い潤滑性で部品の摩擦係数を低減することができ、同社では将来的に「環境・健康・賑わい」

# 経済危機打開へ団結を

## 中小対策強化へ決議案採択

全国中央会

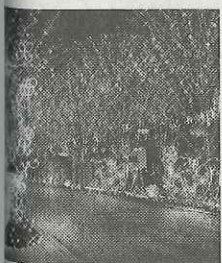
【千葉】全国中小企業団体中央会は19日、第61回中小企業団体全国大会を幕張メッセ（千葉市美浜区）で開いた。鶴田欣加。経済危機に対する中小企業対策の強化などを柱とする大会決議案を採択した。

鶴田会長は「中小企業を取り巻く環境は、かつて、危機を乗り越えるためには「組合員相互の連携が今まで以上に重要」と団結を呼びかけた。来



採択した決議案は経済対策や資金繰り対策の実施、中小企業税制の充実など厳しい経済状況を反映した内容となったが、一方で今後の成長に備えたモノづくりに支援強化なども盛り込まれた。政府が政策として掲げる最低賃金の大幅

# LEDで優しくライトアップ



今年よりも一段と環境にやさしく。年末の東京・丸の内、大手町、有楽町エリアを発光ダイオード（LED）照明でライトアップする「光都東京・LIGHT TOPIA（ライトピア）」が12月21日から31日、東京・丸の内、来月21日から

昨年よりも一段と環境にやさしく。年末の東京・丸の内、大手町、有楽町エリアを発光ダイオード（LED）照明でライトアップする「光都東京・LIGHT TOPIA（ライトピア）」が12月21日から31日、東京・丸の内、来月21日から

中小ベンチャー振興基金（東京都渋谷区、荒井寿光理事長、03・5466・2109）は2009年度「試作品開発先8件を選定

試作品開発助成金 交付先8件を選定

中小ベンチャー振興基金

発助成金「交付先8件を決定した。

今年度の応募数は221件で昨年度より73件増加。競争率は28倍だった。交付先8件のうち3件が医療関連。

助成先と所在地、研究開発テーマは次の通り。

▽アイメック（埼玉県朝霞市）MUT LE EXCA R LOAD Rパイフォト

量解析のための顕微鏡システム（川崎市高津区）マキシマム・

活性ガス・加圧装置の試作（愛知県春日井市）

人、参加費は無料。問い合わせは中小機構関東支部（03・5470・1639）へ。